



2022年度スローガン

Start up ～希望を持って未来に進む～

Start up!!

Jan.
2022

1

- 理事長挨拶
- 直前理事長挨拶
- 2022年度役員紹介
- 活動報告
- 1月スケジュール
- 1月の誕生日メンバー紹介
- ひとくちパソコン教室vol.1



特集

**第51代理事長
今住一童君インタビュー**

Start up ～希望を持って未来に進む～

Members

2022年度理事・役員紹介



第51代理事長
今住 一童君

明けましておめでとうございます。2022年度公益社団法人ひびき青年会議所第51代理事長の職をお預かりします今住一童と申します。我々ひびき青年会議所は、中間市・遠賀郡4町を活動エリアとし、地域を想い日々活動を続け、昨年度は創立50周年という一つの区切りを迎えました。そして、昨年度はおかげさまで創立50周年という一つの区切りを迎えました。今年度はこれまでの理念を継承するとともに「Start up～希望を持って未来に進む～」というスローガンの下、人財育成と組織改革に力を入れていきたいと考えています。公益社団法人ひびき青年会議所のメンバーの皆様一人ひとりが、この組織の未来に希望を持って活動していけるように、私がこれまでJC活動の中で得た知識や経験、そして諸先輩方から受け継がれてきた想いをしっかりと発信して参りたいと思います。そして私自身もメンバーの皆さんを導く道しるべとなるべく、この伝統ある公益社団法人ひびき青年会議所理事長という職務を1年間しっかりと全うしていく所存です。1年間どうぞよろしくお願いいたします。



直前理事長
梅田 福太郎君

あけましておめでとうございます。一昨年から猛威を振るう新型コロナウイルス感染症の影響により、行えた事業、行えなかった事業がある中でも、2021年度を皆様のおかげを持ちまして全うすることができました。この場をお借りして、厚く御礼申し上げます。2022年度は、支えていただいた皆様を全力でサポートしてまいりたいと思っています。そのためにも、自分が経験したことや知識、他LOMとのつながりを皆様へお伝えするとともに、メンバーの皆様のスキルアップや新たな出会いにつなげてほしいと考えております。また、楽しいJC活動・運動を体感して欲しいと願っております。直前理事長として、おまけの1年をいただきましたので、本年度はメンバーの皆様としっかりとコミットさせていただきますので、皆様とともに楽しく中間市遠賀郡4町のために「何ができるのか、何をしなければいけないのか、何を求められているのか」を考えていきたいと思っています。今後とも、宜しくお願い申し上げます。



専務理事 竹内 和久君 副理事長 行正 祐太郎君 副理事長 北出 修一君 副理事長 辻 聖君 副理事長 河合 祐一君 財務担当常任理事 川口 靖志君 常任理事 寺崎 竜二君 監事 井上 佳亮君 出向理事 堀田 龍二君



事務局長 藤森 宏明君 総務委員長 湯浅 允斗君 50周年実行委員長 柴田 祐希君 青少年育成委員長 原 直人君 地域開発委員長 梅田 衛君 例会委員長 黒川 凌雅君 アカデミー委員長 金城 一聖君 広報委員長 早田 幸平君 会員拡大委員長 盛田 総平君

人として成長したい

第五代理事長

今住 一童君

会員の生き様にスポットを当てていく本コーナー。記念すべき第一回は第五代理事長である今住一童君に突撃してきました！ぜひ最後までご覧ください。

—今日はよろしくお願ひします。

今住理事長（以下、理）「よろしくお願ひします」

—まずは、仕事内容を伺っていいですか？

理「仕事内容は大きな括りで言うところと建設業で、土木工事だったり解体工事の時に「コンクリートを切ったり、エアコンをつける時の穴を開けたり、外構のフェンスを立てる時にブロックに穴を開けたり、下水管水道工事でカッターでアスファルトを切ってそこを剥ぎ取りやすくしたりっていうちょっと特殊な仕事で、一応公共工事の土木工事の方も入札に入らせてもらって、福岡県と北九州市と水巻町の公共工事に携わらせてもらってます」

—ありがとうございます。
—います。そんな今住理事長が

JCに入ったきっかけってどういうの？
何なんだっただけでしょうか？

理「歴代理事長の細川忠広先輩と仕事で知り合ったのがきっかけです。細川先輩がJCに入ってるっていう話を聞いて、元々JCっていう言葉は知ってたんですけど、どういう団体なのかとか分からなかったんで、「JCって何なんですか」と聞いたら、「じゃあ一回見に来るか」という風になって、それが二十八歳の時でした。父親と二人でやってるような小さい会社だったので、仕事を覚えることはできても人としての成長っていうのは得られないかなと思ってたので、どこかの団体に入りたいなって思ってた時に、一回見に来るかと言われたので見に行っ、その時にすぐに入会しようと決意しました」

—二十八歳の時ってことはJC歴は約十年ですか。ベテランですね。

理「そうですね。二十八歳の十一月ぐらいに見学に行って、入会したのは年明けての二十九歳の時の二月だったので、JC生活は九年目ですね」

—そうなんですね。さて、元々自身の成長のために団体に入りたいという思いがあつ

たということなんですけど、何か自分を変えたいっていう風に思ってたきっかけがあるんでしょうか？

理「自分を変えたいっていうのもあったんですけど、自分を成長させたいっていう思いが強くて、父の会社をいずれ継ぐって考えた時に仕事だけを覚えていっても会社の経営ができるのかなっていう不安もあったし、人として、男として成長したいなっていう思いがずっとあって、サラリーマンという経験がなくて世間知らずな部分があったので、社会に出て色んなことを学びたいなって思ってたんです」

—なるほど、では九年JC活動をしてきて一番学びになったなっていうのはなんでしょうか？

理「やっぱり人は一人じゃ何もできないなっていうのが一番大きいですね。委員長をした時も、専務をした時も、副理事長をした時も、全て自分一人じゃできないなっていう。そこは仕事とかにも共通するのかなと思って。じゃあどうやって周りの人から協力を得られ

るのかとか、どうやったら人を巻き込んでいけるような人間になるのかを学ばしました。人にお願ひしたり協力してもらった。それだけです。すごいエネルギー使ってるんで倒くさかったりするんで、自分でした方がいいやってたまに思う時もあるんですけど、それじゃあキャパオーバーになっちゃって絶対できない。それこそ仕事も家庭もつてなったら、全部を一人でこなすのは無理な



ので、やっぱり協力者を作っていかないと
うまく回っていかないのかなと。そこは凄
く勉強させてもらいました」

「なるほど。今住理事長は人を巻き込むの
がうまいというか、話すのがうまいと思
うんですが、元々人前でしゃべったりする
ことっていうのはあったんですか？」

理「いえ、元々小さい建設業の会社だった
んで、人前で喋るっていうのはありません
でした。JCに入る時にその辺もうまくな
りたいなど。まあ最初の入会理由は人とし
ての成長ってさっき言ったんですけど、
やっぱりパソコンも覚えたいとか、人前
で喋る技術だったりそういうのを学びたい
なっていうのはありました。でもそこで

はつきり言ってあん

まり自分で勉強して

いかなくても、委員

長とか役職を受けて

たら自然と身に付い

てくるもんなんだ

なって途中で気づい

て、じゃあそれ以外

何を本当に学ばない

といけないのかなっ

て考えたら、やっぱ

り人を巻き込む力と

かなと。喋るのも

最初は下手だった

し、まあ今でもそん

ないうまくはないで



とにかく人前でしゃべったことがない人間
だったんでめちゃくちゃ下手でしたね」

「そうだったんですね。今住理事長は話の
中で心理学に関する話が結構出てくるなっ
ていう印象があるんですけど、そういうの
もJCに入ってから勉強したんでしょうか？」

理「まあこれといって特に勉強したって訳
じゃないですけど、ちよつとそういうのが
好きだなっていうのがあって、自分なりに
本を読んだりとか、ネットで調べたりと
か、YouTubeを観たりとか、そうい
うので学んできました。なんで学びたい
かって言ったら、やっぱり人を巻き込むの
に一番役に立つと思うか、便利かなと思っ
て。人とうまうまうコミュニケーション

ションを取れるのかと

か、どうやってたら人

を巻き込めるのか

なっていうのを調べ

ていくうちに、自分

が元々それを意識し

てなかったところも

今までやってたんだ

なって感じました。

心理学を勉強する上

で、今まで無意識の

うちにそういうのを

やってたから、

元々コミュニケーション

ション能力は高かつ

た方だと思っんです

けど、

うことを自分は無意識にやってたんだなっ
て思うと、じゃあもつと効果的に、効率的
に、戦略的にそういうのができたら、もつ
ともつと人を巻き込めるんじゃないかなと
思って独学で学びました」

「なるほど、ありがとうございます。それ
とは別に、単純にJCに入ってからよかった
なっと思っことはありますか？」

理「そうですね。単純にいろんな人と出会
えたのが良かったですね。すごい人って

いっぱいいて、まあお金持ちだったり、人
としても凄いなって尊敬できたりとか、ま



あ色んな人がいる。逆に
言うとなんか凄いなって
全体の中でも少しした
ら二割とか三割ぐらい、
まあ少ない割合なのかも
しれないけど、JCに入
ってなかったらその少
ない割合の人たちに多分
出会えてなかったらう
なっという人が多い。自
分は自分の世界で生きて
きたんで、似た者同士の
付き合いしかなかったの
で、それが絶対に一生関
わるることなかったらう
なっと思う人と出会え
たっというのがすごくよ
かったです。本当に一生
の宝にもなると思いま
す。逆に言っつと、まあ尊

敬できないって言うか、あんまりこの人か
らは学ぶところないなとかっと思っ人も中
にはたまにいます。そういう人を見
て反面教師にするというか、こう言う時
にはこういうことしやいけないんだなと
かっというのを、まあ悪く言ったらサンプ
ルとして見るっというのも学ばべきところ
があっつてよかったと思っます。失敗も成
功も色んなサンプルがJCの中にはあるな
と、そこはすごくこう、自分の中で人生で
壁にぶち当たった時とかには、凄く役にた
つと思っます」

「なるほど、先ほどおっしゃった、人は一人では生きていけないんだってということもリンクしてくるような感じですね。」

理「そうですね。そう言った面でも、やはりJCに入ってよかったなと思っていま

「ありがとうございます。それでは少し話は変わりますが、理事長になろうと思っ

理「そうですね、やっぱり自分は専務理事の経験もあるんですけど、専務理事するまでっていうのは委員長しかやってなかったの、理事としては自分の委員会しか見えないというか、会全体を見る立場になかった、自分の委員会のことだけでいい

「なるほど、ありがとうございます。ではこうして晴れて理事長になった今、ひびきJCに対する想いっていうのを聞かせてもらってもいいですか？」

理「そうですね、ひびきJCに対しては、やっぱり自分自身が九年間在籍させてもらって、本当にすごく成長をさせてもらったと思うんですね。周りの人がどう思うかっていうよりも自分自身がすごくそれを感じられているので、まあ自己満なのかもしれないですけど、この九年間を仮にJCに入っていないかった九年間と比べた時に、絶対にできなかった経験とか色々させてもらって、成長したと自分でも感じていま

とにかく一生懸命 やってほしい

「なるほど、ありがとうございます。では最後にひびきJCの会員の皆様に向けてメッセージをお願いします。」

理「そうですね。まあJCに入会する時に多分色々悩んで決断して入会したと思うんですけど、僕自身も理事をしたり一生懸命やっていくうちに、自分自身が成長したなと、逆に何も役を受けていない年っていうのは自分の成長があんまり感じられなかったりする、理事とか役職を受けていく上で学べる人が多いので、ぜひ一度は役職を受けて一生懸命やってもらいたいなっていう思いはあります。反面やっぱり人それぞれ人との向き合い方っていうのがあると思うので、役職を受けるだけがJC活動じゃないので、とりあえず卒業を目指すでもいいので、とにかく例会とかに積極的に参加してほしいなと思います。どうせ入ったんだっただけ自分のやる範囲では一生懸命やってもらいたいなと。まあ例会とかにあんまり出てこないメンバーとかいるんですけど、年間十三万っていうお金払って一回も出てこなかったりすると、そんなにお金余ってるのかなと、十三万捨ててもいいだけの余裕があるのかなって感じるので、やっぱり決して少なくないお金を払ってるので、せめて自分の成長に何かしら自分なりにつけてほしいなと思いますね。自分

「僕も頑張りたいと思います。本日は貴重なお話を聞かせていただいてありがとうございました。」

理「ありがとうございます」



Activities

活動報告

12月度例会卒業式・卒業パーティーが開催されました

昨年12月4日にアートクレフクラブにて2021年度卒業例会・卒業パーティーが開催されました。

お忙しい中たくさんの現役メンバーとシニアの先輩方が集まってくださり、梅田福太郎先輩、宮野教彦先輩両名の卒業を盛大に祝うことができました。

第一部の卒業式では褒賞の後、心温まる卒業生へのビデオメッセージの上映、厳粛なムードの中卒業証書の授与、記念品贈呈、送辞、答辞が行われました。

第二部の卒業パーティーでは卒業生でもある梅田直前理事長から今住理事長へプレジデンシャルリースの伝達式が行われ、花束贈呈ののち、シニアクラブ会長の本田憲輔先輩から卒業生のお二人にお祝いの言葉をいただきました。

その後は佐々木健五先輩の乾杯からの弁当形式の歓談で楽しいひとときを過ごし、三原朝彦先輩の一本締めの後、記念撮影が行われ、無事卒業パーティーが終了しました。

個人的には立石先輩の涙を堪えながらの監事総評が印象的でした。

梅田先輩、宮野先輩、改めてご卒業おめでとうございます！



ひとくち! パソコン教室 Vol.1

知っていると思えるパソコンスキルを紹介するこのコーナー。

記念すべき第1回は、ズバリ「ショートカットキー」の紹介です！

使っている人は使っている、でも知らない人は知らないショートカットキーですが、使いこなすだけでパソコンの作業効率が爆上がりなので、この機会にぜひ覚えておきましょう！

Windowsを基準に説明しますので、Macの方は「Ctrl」を「Command」に読み替えてくださいね♪

それでは早速紹介しましょう！最低限覚えておくべきショートカットキーはこちら！

「コピー : Ctrl + C」 「カット : Ctrl + X」
「ペースト : Ctrl + V」 「全選択 : Ctrl + A」
「保存 : Ctrl + S」 「やり直し : Ctrl + Z」

他にもたくさんありますが、ひとまずこの6つは覚えておきましょう。

いちいちマウスで右クリックするより遥かに作業スピードがアップしますよ！

特に操作を間違えた時にやり直せる「Ctrl + Z」は魔法のコマンドなので、ぜひ使いこなしてみてくださいね♪

1月スケジュール

7日 … 1月度例会・総会

8日 … 新春懇親会

20～23日 … 京都会議

